第34号 2005年12月

発行元: 社団法人 家畜改良事業団 家畜バイテクセンター URL: http://liaj.lin.go.jp/(http://liaj.or.jp/ivf/)

CONTENTS

NEWS 体外受精卵の普及に関する検討委員会

おじゃまリポート JA全農おかやま総合家畜市場(岡山県真庭市)

おじゃまリポート 香川県家畜市場(香川県綾南町)

NEWS 第6回 大阪体外受精卵産子枝肉共励会





「体外受精卵の普及に関する検討委員会」を開催

去る11月15日(火)に当団本部会議室において、「体外受精卵の普及に関する検討委員会」を開催しました。委員をお願いしたのは、長らく体外受精卵の移植や普及に力を注いで来られた全国15名の方々です。委員会では、体外受精卵の利用や普及に関するこれまでの経緯について紹介していただき、体外受精卵移植をさらに普及させるために取り組むべき課題等についても様々な角度からご検討を頂きました。

多くの委員から、体外受精卵産子の市場価格等について肯定的な意見があり、体外受精卵の利用は今後さらに増加するだろうとの見通しが述べられましたが、一方で、交雑種価格の上昇やアメリカ産牛肉の輸入再開など不透明な要素もあり、現時点で今後を見通すのは難しいとの指摘もありました。

新しく体外受精卵移植に取り組む地域へのアドバイスとしては、単発的ではなく組織的な取り組みが必要であり、農家への的確な事前説明、哺育・育成の指導、産子の販売ルートの確保が必要不可欠、などが各委員に一致した意見でした。

委員の方々が活動する地域性が強く出た意見もあり、大変 興味深く、今後の普及に多くの示唆を得た委員会となりました。

委員会では次のような事例の紹介もありました。

北海道

北海道の根室管内の一地域では、最近の多頭化を反映してか発情観察が不十分となり、正確な発情確認ができずに見逃してしまった牛や長期不受胎牛へ体外受精卵の移植をする例がある。そのような移植でも40%近くの受胎率を出すことができ、分娩間隔の短縮に寄与している。

東北地方

東北地域では体外受精卵事業が開始された当初、各地で体外受精卵の移植が行われていたが、その後下火に。一昨年あたりから多くの地域で再開され、安定した受胎率が得られ、さらに岩手や福島等で産子が安定した価格で販売されていることから、改めて注目を浴びている。しかし、各地でF1が比較的高値で取引されており、一本調子で移植が増加するかどうかは微妙。

群馬圓

群馬県では受胎率の差が何かを調査してみたところ、 購入飼料のみで酪農を経営している生産者、あるい は草地型酪農を展開する生産者では乳成分中に含ま れるタンパク量により受胎率に差が出ていることが 判明。最近は乳質指導で受胎率向上に役立っている。

長野山

長野県では最近では珍しくなってきている地域内の 提携肥育農家へ産子を販売しているが、数日の哺育 期間で地域に引きとられており、酪農家にとっては 負担が軽いばかりでなく、取引価格も納得いく流通 が形成されている。産子の評価は高くて引く手あま た。

愛知但

愛知県では地元で移植するケースはもちろん、北海道の預託先で体外受精卵を移植してもらっている事例がある。その背景には豊橋家畜市場で産子が高値で取引されていることが考えられ、生産者団体としては少しでも有利な販売ができるように、市場開催者と協議する一方、購買者へも聞き取りを行い、なるべく希望に沿う形で出荷するよう工夫している。毎週開催される一般市場のうち、月初めの市場に産子を集めて販売する戦略が功を奏している。

中国地方

中国地方では、おかやま総合家畜市場が毎月開催されるようになったことから、各地で集中的な移植を行い、一度により多くの産子を出荷することで、購買者が寄り集まりやすくなった。その結果販売面でも納得いく価格形成が行われており、生産者の意欲も高まり、受胎率も向上している。

九州地方

個体販売が順調な九州地区では最近の熊本県家畜市場の傾向として、販売時の体重が100kgを越えるものを購買者が好むようになってきたことから、哺育期間がやや伸びてきた。九州で体外受精卵を移植している酪農家の哺育技術のレベルは全国的にみても相当高いだろう。





JA**いずも**とJA斐川町から 体外受精卵産子が上場!

平成15年1月から始まったJA全農おかやま総合家畜市場(真庭市)での体外受精卵産子のスモール販売は、当初隔月で開催されていましたが、今年に入ってからは毎月第1火曜日に定期的に開催され、販売成績は安定し堅調です、右下グラフ参照)。

この好調な販売成績の影響もあって、近隣府県で は同家畜市場への出荷を目的とした体外受精卵の移 植が増えています。

昨年12月、島根県のいずも農業協同組合と斐川町 農業協同組合において集中的な体外受精卵移植が行 われ、その成果として、去る11月1日のスモール市 場に22頭の体外受精卵産子が上場されました。

晴天に恵まれた市場開催日当日は、島根県のほか 岡山県や奈良県、大阪府、京都府からも産子が出荷 され、また購買者も県内外から多く集まり、合計で 35頭の体外受精卵産子が販売されました。

生産者の皆さんは「たった2ヶ月齢の産子がこんな高値で販売できるならば、酪農経営のプラスになる。今後は受卵牛の管理や移植技術等も検討して受胎率を上げ、1頭でも多くの産子を上場できるようにしたい。」と喜んでいました。

なお販売成績は、表1のとおりです。

表1.11月1日の体外受精卵産子販売成績

(JA全農おかやま総合家畜市場)

性別	販売頭数(頭)	平均日齢(日)	平均体重(kg)	平均日齢単価(円)	平均価格(円)
雄	23	44	68	7,255	319,217
雌	12	50	61	4,992	249,583

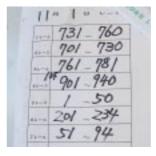
表2.11月1日の体外受精卵産子販売成績ベスト5

(JA全農おかやま総合家畜市場)

種雄牛	性別	日齢(日)	体重(kg)	販売価格(円)	日齢単価(円)	kg単価(円)
美津照	広 隹	44	87	370,000	8,409	4,253
美津照	広 隹	39	79	363,000	9,308	4,595
福栄	広 住	60	80	358,000	5,967	4,475
安茂勝	雄	38	73	354,000	9,316	4,849
福栄	広 住	45	68	352,000	7,822	5,176



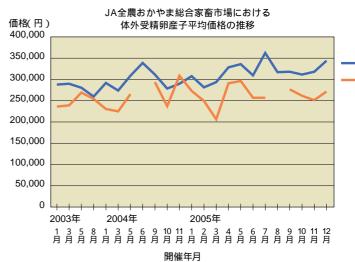
粒ぞろいの体外受精卵産子たち





盛り上がるセリ場。どんどん値が競り上がっていきます





いま中四国から目が離せません!





四国でも定期市場開設の予感

香川県家畜市場に体外受精卵産子達がお目見え!



セリが始まりました。緊張の瞬間!

大事に大事に育てた体が安徳印在子

大事に大事に育てた体外受精卵産子。 いよいよ出荷の時がきました。

表.香川県家畜市場における

11月28日の体外受精卵産子販売成績

種雄牛	性別	日齢(日)	体重(kg)	販売価格(円)
安茂勝	雄	73	112	355,000
安茂勝	雄	74	78	292,000
安茂勝	雄	72	62	274,000
福栄	雄	86	73	306,000
福栄	雄	88	67	272,000
福栄	雄	91	65	251,000
福栄	雄	92	64	250,000
福栄	雌	61	66	280,000
福栄	雌	72	64	268,000

11月28日、香川県家畜市場(主催: JA香川県、後援:香川県家畜商協会)において一般市場が開催され、体外受精卵産子(スモール)が9頭まとまって上場されました。過去に単独での上場はあったものの、9頭もの頭数が一度に上場されたのは初めてのことです。

昨年から本格的に始まった香川県内での体外受精卵移植。今年の夏頃から続々と産子が誕生し、今回の上場となりました。現地からリポートします。

この日の10時頃、ようやく子牛達を乗せたトラックが到着。 続々と荷卸しされ子牛達が勢ぞろい。体重測定の結果、日齢に比べ 体重が軽いのが少々気になります。購買者も「この子の親は何」 「この子で体重は何キロ」と質問しながら下見、「ちょっと小さい なぁ」などの注文を付けながらも興味津々で品定めしていきます。 出品者も他の出品者の子牛やF1の子牛と見比べ、「もうちょっと大 きくしないといけないなぁ」とか、「うちの子牛が貧弱に見える」 「この間生まれた子牛はミルクの量を増やそう」などと反省点と課 題もしっかりと確認。期待と不安を抱えてセリの順番を待ちます。

その時は刻々と近づきます。出品者は心なしかソワソワ。何とか良い値が付きますようにと・・・。セリの順番が近づくにつれ、期待と不安が交錯します。

セリはあっという間に終了。出品者の表情に笑みがこぼれました。 みなさんの口からは「欲を言えばもうちょっと欲しかったが、あの 体重では文句も言えない(苦笑い)」「良かった。小さい子牛だった だけに、買ってもらった人にかえって申し訳ない」「恥ずかしい値 段じゃなくって良かった」と一様に安堵の言葉が聞こえました。

なお販売成績は、左表のとおりです。

次回の出品に向けて意欲的な姿勢が頼もしい生産者の皆さんでした。

香川県内では体外受精卵の移植が昨年からほぼ毎月のように行われていますので、酪農家では続々と子牛が産声を上げています。

次回の開催が待ち遠しい香川県家畜市場からお伝えしました。



第34号

発行元 社団法人 家畜改良事業団 家畜バイテクセンター 〒140-0002 東京都品川区東品川3-21-10 ヤダビル3F TEL 03-3740-2709 FAX 03-3740-2719



年暮れきりし「うつくしや



第6回 大阪体外受精卵産子 枝肉共励会が開催(上物率 87.2%)

熊本県経済連・内田耕一さんの 「安福165の9」産子が最優秀賞!

10月5日~7日、第6回大阪体外受精卵産子枝肉共励会が大阪市中央卸売市場南港市場で開催されました(主催:財団法人興農会、協賛:大阪市食肉市場株式会社、社団法人家畜改良事業団)。今回は6県9団体から合計47頭の出品がありました(去勢39頭、牝8頭)。

最優秀賞は、熊本県経済連の内田耕一さん出品による「安福165の9」産子が受賞し、枝肉単価2,805円で競り落とされました。今回出品された47頭中、20頭(42.6%)が5等級に、21頭(44.7%)が4等級に格付けされ、上物率は87.2%と大変良好な成績となりました。また、枝肉単価の平均は前回の1,952円から222円高くなり2,174円でした。

褒賞授与式において、主催者である財団法人興農会の海老澤理事長は「生産者の皆様の努力の賜で品質はとても良く、平均単価は過去最高を記録した。審査講評を今後の生産にいかして一層の研鑽を積んでいただきたい。」と話され、体外受

精卵産子の肥育技術の更なる向上を目標として挙げられました。

なお、詳細なデータは当センターホームページ(http://liaj.or.jp/ivf/)に掲載しております。



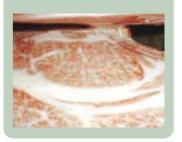
種雄牛別成績

1 2 1 7 1 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
種雄牛名	性別	頭数	月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm²)	ばらの厚さ(cm)	BMS No.	枝肉単価円)	枝肉金額(円)
	去	33	28.5	463.9	62.5	7.6	7.6	2,206	1,026,451
安福165の9	牝	7	30.5	430.3	61.6	7.0	7.0	2,058	888,557
	計	40	28.9	458.0	62.4	7.5	7.5	2,180	1,002,319
安福栄	牝	1	27.9	394.8	58.0	7.1	4.0	1,725	681,030
美津福	去	1	30.1	459.6	58.0	7.2	6.0	2,051	942,639
福栄	去	2	29.7	467.9	50.5	7.4	6.5	1,973	923,679
北国7の8	去	3	28.6	460.8	64.3	8.2	8.3	2,288	1,051,810
	去	39	28.6	463.8	61.9	7.6	7.5	2,197	1,020,982
全 体	牝	8	30.2	425.9	61.1	7.0	6.6	2,016	862,616
	計	47	28.9	457.3	61.8	7.5	7.4	2,166	994,026

最優秀賞 内田耕一さん (熊本県菊池市)



種 雄 牛 安福165の9 性 別 去勢 月 齢 27 **A5** 格 付 枝肉重量 492kg ロース芯面積 82cm² BMS No. 12 枝肉単価 2,805円 枝肉金額 1,378,938円



編集後記

性判別した体外受精卵の供給が始まっては や1年が経過しようとしています。今回ご紹介した、岡山や香川の家畜市場はその成果と いえるもので、出荷された産子たちは雄が多いことがお分かり頂けると思います。性判別 の作業は通常の体外受精卵よりも手間暇掛けたものですので、その分生産されてくる子牛 の付加価値が高まれば我々としてもやりがい を感じます。発送できる数に限りはあります が、各地で根付き始めていることはうれしい 限りです。少しずつ、広がってくれることを 願ってやみません。